



第51回全国消防救助技術大会

ロープ応用登はんの部に出場

市消防本部救助隊

たかいけんご かわいだいすけ
高井健伍・川合大介ペア



PROFILE

⑤たかいけんご ⑥かわいだいすけ
「大会優勝は救助隊の誰もが目標とすることです。仲間と喜びを分かち合いました」と笑みを浮かべる。

- ①息を合わせ県トップのスピードを見せる高井消防士長と川合消防士長
- ②ロープブリッジ渡過の部では濱田大地消防士長が準優勝した
- ③出場した全5種目で減点なしの好成績を残した市消防本部救助隊

市の消防救助技術が認められる

6月6日に静岡県消防学校

で開催され、県下16消防局・

本部が出場した「第51回静岡

県消防救助技術大会」のロー

プ応用登はんの部で、御前崎

市消防本部救助隊の高井健伍

消防士長・川合大介消防士長

ペアが見事優勝を決めた。こ

れにより同ペアは、8月25日

に北海道で開催される「第51

回全国消防救助技術大会」へ

の出場権を獲得した。全国大

会への出場は19年ぶり。全国

の猛者を圧倒するため、引き

続き訓練に励む。

「ロープ応用登はん」とは、

2人一組で地上15メートルの

到達点まで器具を使わずに手

とロープのみで登り、その安

全確実性と所要時間を競う種

目。同ペアのタイムは10秒2

で、2位とは1.6秒もの差を

つけた。スタートの合図とと

もに、登はん者が補助者の腰

と肩に足を掛けてロープに移

り、補助者と息を合わせなが

らロープを登っていく様子は

まさに圧巻。隊員の迅速かつ

巧みな動きの連携は、住民の

安全を守るための訓練と情熱

の結晶だ。

御前崎市の名を背負って

24時間体制の消防署は3つ

の部で編成されており、署員

は交代制で勤務している。大

会に向けて4月から開始され

た訓練は、当直以外の日に1

日2時間半実施されてきた。

隊員たちは、いつ出勤がある

かわからず緊迫する当直に加

えて実施される訓練にも決し

て疲れは見せない。

市消防本部救助隊を指揮す

る川口卓也隊長は、「訓練で冷

静な判断力や技術を養うこと

で、現場での迅速な救助活動

につながります。訓練でき

ないことは、現場でもできま

せん。住民の生命と財産を守

るため、普段から体力づくり

や救助技術の向上などには余

念がありません。これからも

最善を尽くします」と強い意

志を込めて話す。

近年、南海トラフ地震の発

生や大雨などによる風水害な

どが危惧され、まちの防災力

に関心が高まっている。隊員

たちには、これからも住民の

期待に応え、頼もしい存在で

あってほしい。